

平成30年2月9日
公益社団法人 大分県畜産協会

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補填金単価について【平成29年10・11・12月分】

平成29年10・11・12月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機第5583号）第6の9及び附則10の補填金単価（確定値）については、下記のとおりです。

なお、平成29年11・12月に販売された交付対象牛に適用する同要綱附則10の精算払額については、下記の確定値と概算払の補填金単価の差額となります。

記

販売月	肉専用種 (地域算定)	交雑種 (全国算定)	乳用種 (全国算定)
平成29年10月確定値 (概算払)	40,100円 (36,100円)	72,700円 (68,700円)	35,300円 (31,300円)
平成29年11月確定値 (概算払)	32,100円 (28,100円)	60,000円 (56,000円)	23,500円 (19,500円)
平成29年12月確定値	-	30,000円	21,200円

注1：平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

注2：平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。

注3：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円/頭を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円/頭未満の場合は概算払を行いません。

注4：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

注5：平成26年度より、消費税抜きで算定しています。

注6：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。

<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>

連絡先

価格安定課

担当：神崎、秋吉

電話：097-545-6594

(参考1)

平成29年12月における補填金算定基礎(肉専用種)
【平成29年12月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,232,256
生産コスト (B)	1,209,652
差額 (C) = (A) - (B)	22,604
補填金単価 (D) = (C) × 0.8	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,232,256
主産物価格 ① = a × b	1,222,200
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,520
枝肉重量 (kg) b	485
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,209,652
物財費 ③	1,113,913
もと畜費	767,319
飼料費	279,495
流通飼料費	278,031
麦類	10,405
とうもろこし	9,435
ふすま	8,501
かす類	7,479
配合飼料	198,883
稲わら	24,147
その他	19,181
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,615
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,964
自動車費	5,510
農機具費	8,463
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,186,586
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,387

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成29年10月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,160,469
生産コスト (B)	1,210,713
差額 (C) = (A) - (B)	△ 50,244
補填金単価 (確定値) (D) = (C) × 0.8	40,100

粗収益 (A) = ① + ②	1,160,469
主産物価格 ① = a × b	1,150,413
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,343
枝肉重量 (kg) b	491
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,210,713
物財費 ③	1,114,716
もと畜費	767,319
飼料費	280,483
流通飼料費	279,019
麦類	10,455
とうもろこし	9,425
ふすま	8,567
かす類	7,447
配合飼料	199,757
稲わら	24,124
その他	19,244
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,442
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,952
自動車費	5,510
農機具費	8,463
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,187,389
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,645

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考3)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成29年11月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,169,592
生産コスト (B)	1,209,744
差額 (C) = (A) - (B)	△ 40,152
補填金単価 (確定値) (D) = (C) × 0.8	32,100

粗収益 (A) = ① + ②	1,169,592
主産物価格 ① = a × b	1,159,536
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,352
枝肉重量 (kg) b	493
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,209,744
物財費 ③	1,114,044
もと畜費	767,319
飼料費	279,719
流通飼料費	278,255
麦類	10,418
とうもろこし	9,425
ふすま	8,529
かす類	7,455
配合飼料	199,102
稲わら	24,124
その他	19,202
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,522
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,964
自動車費	5,510
農機具費	8,463
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,186,717
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,348

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考4)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

大阪中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、京都市中央卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、曾於中央家畜市場、熊本県畜産農業協同組合（熊本県家畜市場）、天草畜産農業協同組合（天草家畜市場）、小林地域家畜市場、県南家畜市場、球磨家畜市場、山口中央家畜市場